

# 平成30年度 第1回スーパーグローバルハイスクール連絡会 カリキュラム研究開発事例発表



秋田県立秋田南高等学校

# 県立秋田南高校の概要



平成28年度より中等部を併設。中高一貫校となる。

創立	昭和37年4月13日	生徒数	高校	707名
課程	全日制/普通科		中等部	240名

校訓

どく りつ じ そん  
**獨立自尊**

基本理念

郷土や国家を支える高い志と  
国際的な視野を備えた  
グローバルリーダーの育成

研究開発構想

「こまちの里」秋田の高校生が、  
「地球村」の食糧問題に挑む！

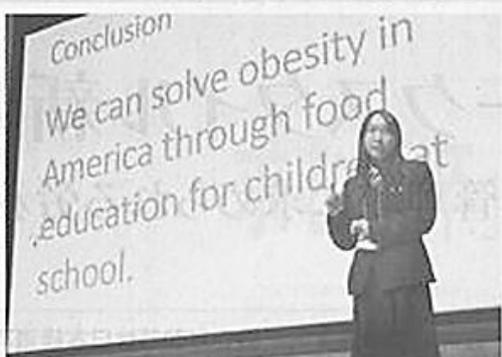


# これまでの活動・成果

## SGH甲子園 2017 口頭発表(英語)部門 最優秀賞

## Global Link Singapore 2017 Best Presentation Award

SGH甲子園 初開催



### グローバル課題 高校生が挑む

秋田南高校チーム

初は日本の食育を米国に導入する話の流れがあったが、指導から「日本の食文化部分分を押しつけるニュアンスがあり、グローバルな視点の観点として適切ではない」と指摘を受け、異なる文化圏の食を幅広く味わえる米国の民を食す内容に変更された。

最優秀に選ばれ、7月にシンガポールで開催される中高生のアイデアコンテスト「グローバル・リンク・シンガポール」への出場権を得た。リーダーの南條佑佳さん(1B)は「グローバルな視点で食育を研究する機会」と意気込み、他のメンバーで研究者の佐々木大樹さん(1F)は「口頭発表に経験が生かせる」と話す。

「秋田南高校チーム」は、米国の肥満問題を食育で解決する。米留学中に選んだ秋田南高校(秋田)のメンバー4人は全員、地元出身。米国のスビーチャイペント「TED」などで表情や体の動かしか方を研究、英語研修プログラムの外国人指導助手のチームで磨いた。

「秋田南高校チーム」は「米国の肥満問題を食育で解決する」。米留学中に選んだ秋田南高校(秋田)のメンバー4人は全員、地元出身。米国のスビーチャイペント「TED」などで表情や体の動かしか方を研究、英語研修プログラムの外国人指導助手のチームで磨いた。

「秋田南高校チーム」は「米国の肥満問題を食育で解決する」。米留学中に選んだ秋田南高校(秋田)のメンバー4人は全員、地元出身。米国のスビーチャイペント「TED」などで表情や体の動かしか方を研究、英語研修プログラムの外国人指導助手のチームで磨いた。

秋田 さきがけ

### 日本代表、英語でプレゼン 秋田南高校生 最高賞

シンガポール米の肥満対策題材

文部科学省からスパーゲタ。ローバルハイスクール(SGH)の指定を受けている秋田南高校(秋田市仁井田)の3年生4人が、シンガポールの開かれた研究発表会「アシア6カ国から200人余「グローバルリンク・シンガポール」で、社会課題をテーマとする部門の最高賞に輝いた。食育を通じた米国の肥満問題解決の可能性について英語で発表。問題設定や探究の姿勢が高く評価されて出場した。

23日に行われた社会課題部門のプレゼンテーションは、秋田南高と東京、ベトナム、肥満問題の解決策として食育の充実を提案し、学校給食や農業体験など日本の取り組みを参考にできると訴えた。

県立大の教授や国際教養大の留学生らの協力を得て研究内容が深まったといい、小林さんは「協力してくれた人たちの顔が浮かび、うれし涙が出た」と振り返った。東南アジアの生徒と交流し、文化の違いを肌で感じたという佐々木さんは「新しい発見の連続だった。貴重な体験を今後の勉強に生かしたい」と語った。(佐藤朋紀)



最高賞に輝き、笑顔を見せる(左から)小林さん、荒木関さん、佐々木さん、南條さん(秋田南高校提供)

# これまでの活動・成果



## 2017年度SGH全国高校生フォーラム 代表生徒ディスカッション



- フィールドワークにおいて、事前・事後の取組を有機的につなげ、効果をあげている点が高く評価できる。
- 秋田県の特徴である農業を中心テーマとし、それを郷土・世界、両方の視点から研究するという明確な研究方針も高く評価できる。
- SGHの精神に合致した地方公立高校のモデル的な取組だが、年度進行とともにマニュアル化が進み形骸化しないよう、今後も常に省察的に実践を重ね進化できる学校文化の形成に期待したい。

# 秋田県立秋田南高等学校

## スーパーグローバルハイスクール (SGH) 事業

学校設定教科「国際探究」

世界規模の課題解決のために、郷土を見つめ直し、世界の状況を検証して、論理的で具体的な問題解決策を考案し、社会に提言できるグローバルリーダーの育成



秋田と世界をつなぐ課題研究

研究開発構想名

「こまちの里」秋田の高校生が「地球村」の食糧問題に挑む！

育む5つの能力

- 実践力
- プレゼンテーション能力
- 論理的思考力
- 課題探究能力
- 課題設定能力

3年次選択者「グローバル・イシュー」

- ・研究論文完成
- ・実践発信「グローバル・ミーティング」
- ・実践発信「国際意見交流会」
- ・研究補強

2年次選択者「国際探究Ⅱ」

- ・公開成果発表会で英語発表
- ・イングリッシュ・セミナー
- ・海外修学旅行(オーストラリア)での発表交流
- ・戦略的表現力講座
- ・グループ別研究活動

1年次全員「国際探究Ⅰ」

- ・成果発表交流会
- ・フィールドワーク(タイ/県内)
- ・研究テーマの主体的設定
- ・世界の食糧問題と秋田の農と食の問題を結びつける講座
- ・ガイダンス「世界の食糧問題」

提言の発信《実践》

解決策考案《探究》

《調査・検証》

グローバルテーマ  
世界の食糧問題

- ・飢餓人口の増加
- ・途上国の食糧不足
- ・貧困と経済格差
- ・穀物の活用用途の変化

- ・玉米を中心とした農業大国
- ・高齢化など共通の課題
- ・高付加価値農産物の開発
- ・日本・秋田との商業的交流

海外フィールドワーク  
との意見交換

秋田の「農と食」の  
特長と課題を見つめる

- ・食糧自給率全国第2位
- ・安全・安心で美味しい農産物
- ・農業の複合化や6次産業化
- ・農地活用と耕作放棄地の解消

公開研究会「秋田南SGHカンファレンス」の実施

問題解決力育成授業研究  
キーコンピテンシー育成モデル開発  
アクティブラーニングモデル開発

校内授業研究の推進

支援

支援

SGUなど各大学との連携

提携

秋田の教育力



秋田県・秋田県教育委員会

- あきた発グローバル人材育成プロジェクト
- 第六次秋田県高等学校総合整備計画
- 高校生未来創造支援事業

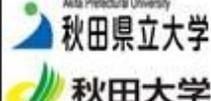
県内各機関等

- 秋田経済研究所
- JETRO
- 民間企業 など

スーパーグローバル大学



県内各大学

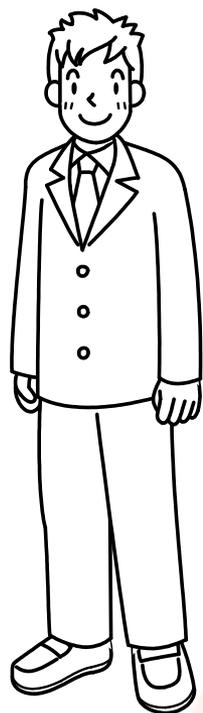


- タイ
- Bangkok Christian College
  - Mahasarakham University
  - Demonstration School (secondary)
- オーストラリア
- St Brigid's Catholic College

# 育成するグローバルリーダー像(5能力・3資質)



## 5つの能力



実践力

研究成果の発信と提言  
社会への還元・実践

プレゼンテーション能力

考えや思いを伝える力  
英語での発表と交流

論理的思考力

情報の分析と仮説の検証  
根拠を明確にして考察する

課題探究能力

情報の選択と収集  
コミュニケーションと協働

課題設定能力

課題意識をもつ  
グローバルな視点の獲得

## 3つの資質

### 基本的知識・技能・習慣

探究・協働に必要な(かつ  
その過程で養われる)力

### 探究力

主体的に課題を発見  
・探究・解決する力

### 協働力

対話を通して良好な人間関係を構築し、仲間とともに探究・創造する力



# 本校SGHの3つの柱

## 秋田の教育力との連携

国際教養大学(SGU)

秋田県立大学、秋田大学

秋田県教育委員会

秋田経済研究所  
JETRO

諸機関・民間企業・NPO等

## 海外連携校

オーストラリア  
・St. Brigid's Catholic College

タイ  
・Bangkok Christian College  
・Mahasarakham Univ.  
Demonstration School

秋田南高等学校

課題研究  
「国際探究」

問題解決力  
育成授業研究

SGUなど各大学  
との連携

グローバルリーダーの育成

# 学校設定教科「国際探究」



## 研究開発構想

「こまちの里」秋田の高校生が、  
「地球村」の食糧問題に挑む！



# 教育課程表



## 平成30年度入学生 教育課程表

文系科目
  理系科目
  英語科目
  SGH科目

普通科理系		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年	共通SGHあり	国語総合			現社	数学Ⅰ		数Ⅱ	数A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	家庭基礎	社会と情報	英語表現Ⅰ	コミュ英語Ⅰ	国際探究Ⅰ (学校設定科目)		L	H	R										
	理系	SGHあり	現代文	古典	世史A /日史A	世史B /日史B /地理B		数学Ⅱ		数学Ⅲ	数B	物理基礎	化学	物理 /生物	体育	保健	英語表現Ⅱ	コミュ英語Ⅱ	国際探究Ⅱ (学校設定科目)		L	H	R										
2年	SGHなし																																総学
	SGHあり	現代文	古典	世史B /日史B /地理B	数学Ⅲ			探求数学 (学校設定科目)		化学			物理 /生物		体育		英語表現Ⅱ	コミュ英語Ⅲ	G.I. (学校設定科目)				L	H	R								
3年	SGHなし																																総学
	SGHあり																																総学

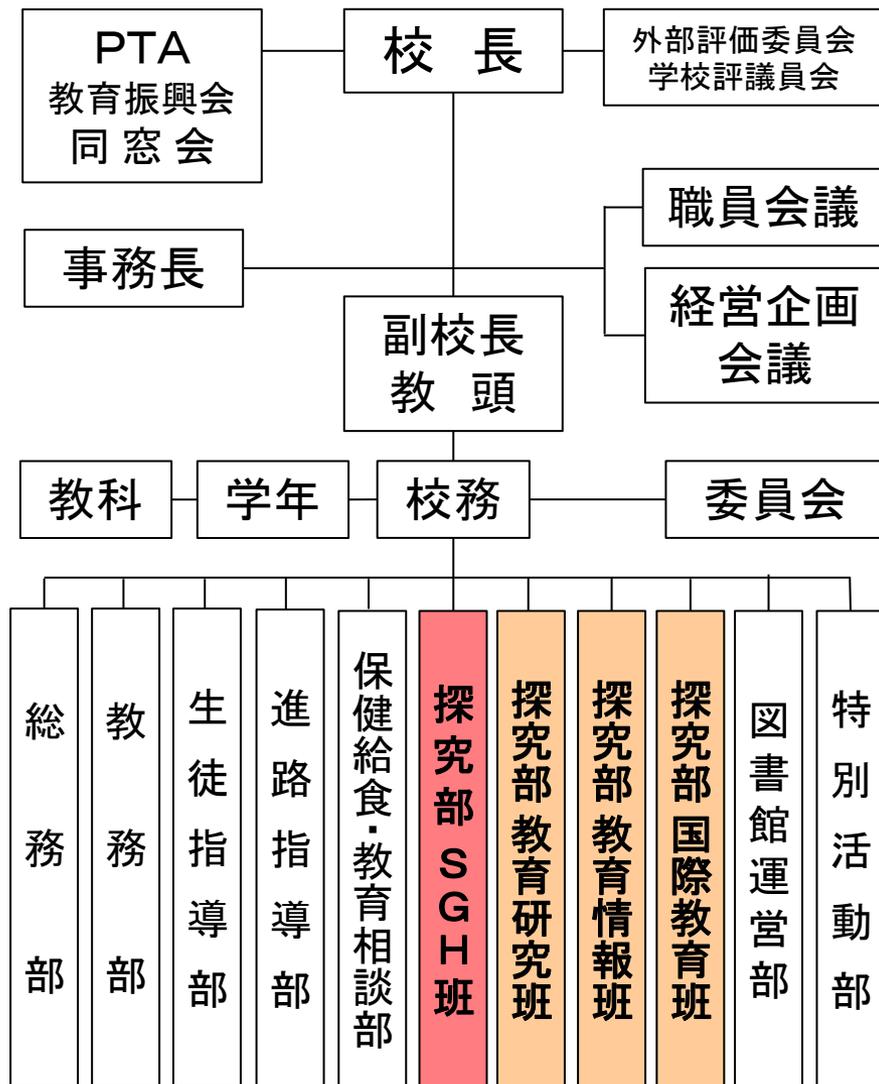
普通科文系		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年	共通SGHあり	国語総合			現社	数学Ⅰ		数Ⅱ	数A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	家庭基礎	社会と情報	英語表現Ⅰ	コミュ英語Ⅰ	国際探究Ⅰ (学校設定科目)		L	H	R										
	文系	SGHあり	現代文	古典	世史B			日史B /地理B		数学Ⅱ		数B	地学基礎	体育	保健	英語表現Ⅱ	コミュ英語Ⅱ	国際探究Ⅱ (学校設定科目)		L	H	R											
2年	SGHなし																																総学
	SGHあり	現代文	古典	世史B/日史B/地理B/ 倫理・政経(学校設定科目) から2科目選択			発展数学 (学校設定科目)			地学基礎		発展生物基礎 (学校設定科目)		体育		英語表現Ⅱ	コミュ英語Ⅲ	G.I. (学校設定科目)				L	H	R									
3年	SGHなし																																総学
	SGHあり																																総学

※「G.I.」は「グローバル・イシュー」(学校設定科目)の略。

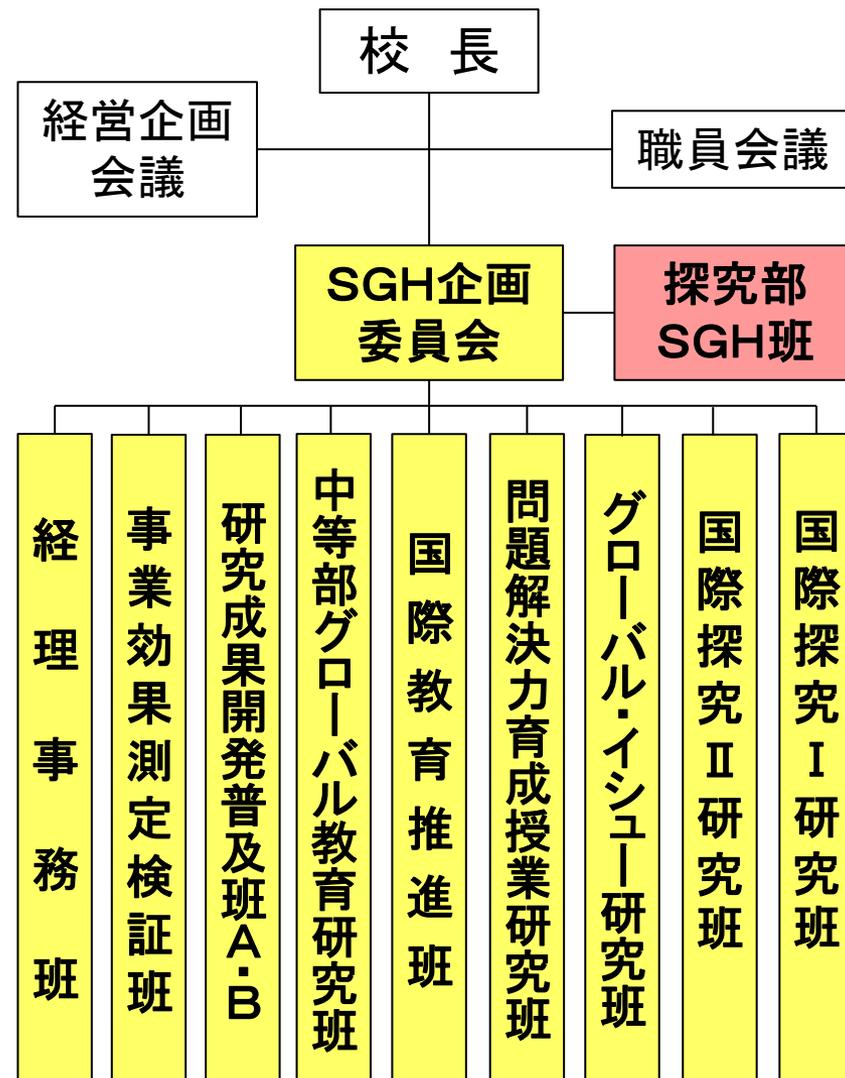
# 校内分掌・組織



## 学校運営組織



## SGH校内組織



# 高1 学校設定科目「国際探究Ⅰ」



1年生全員が、調査・発表など課題研究のサイクルを経験する

4~7月

**各種講座**

世界の食糧問題について課題意識をもつ。

7月

**レポート作成**

夏休み課題。研究したい分野について調べる。

8月~

**グループ研究**

テーマ・分野別に4~5人のグループを編成。

11月

**県内フィールドワーク**

バス6~8台に分乗。企業等で実地調査。

**海外フィールドワーク**

タイ5泊6日。18名を選抜する。

2月

**成果発表交流会**

全班が発表。代表班はステージ。英語もあり。



講座・講演



海外フィールドワーク



成果発表交流会

# 高2 学校設定科目「国際探究Ⅱ」



大学教員の指導を受けながら、専門性を深め、表現力を磨く

4～5月

**グループ再編成**

研究したいテーマ別に4～5人の班を再編成。

5月～

**研究推進**

秋田県立大の教員による継続的な個別指導(年6回)。

7～8月

**班別フィールドワーク**

各班で発展的なFWを計画・実施。

9月

**プレゼン指導**

県内のIT企業と連携。全グループに個別指導。

10月

**校内成果発表会**

校内にて、全班が英語で発表。

**公開成果発表会**

公共ホールにて代表班6班が英語で発表。

2月

**研究論文作成**

ここまでの研究成果をグループで共同執筆。



大学教員による研究指導



プレゼン指導



英語プレゼン発表

# 高3 学校設定科目「グローバル・イシュー」



研究成果を地域や世界へ発信、社会とのつながりを実感する

4月～

**研究推進**

班・テーマとも2年次から継続。研究を進める。

5～6月

**グローバル・ミーティング**

市役所等、地域での実践発信活動。

7月

**国際意見交流会**

留学生や海外連携校への実践発信活動。

7～9月

**研究論文作成**

文章による研究成果のまとめとして論文完成。



市職員の方々



若手企業家の方々



JA・若手農家の方々

# 「国際探究」の指導体制



学年	学校設定科目	単位	対象	校内指導者	外部指導者	フィールドワーク	発表等
3年	グローバル・イシュー 1クラス 38名	1	選択	<b>学年部教員 6名</b> ・SGHクラス担任 1 ・SGHクラス副担任 1 ・他クラス副担任 3 ・学年主任 1	<b>大学</b> (研究協力) 国際教養大、秋田県立大 <b>市・企業等</b> (意見交換) 秋田市役所、J A、JETRO、各企業	自主的FW	意見交換(5~6月)  研究論文(9月)
2年	<b>国際探究Ⅱ</b> 2クラス 70名	2	選択	<b>学年部教員 9名</b> ・SGHクラス担任 2 ・SGHクラス副担任 2 ・他クラス副担任 4 ・学年主任 1	<b>大学</b> (研究指導) 秋田県立大(通年来校指導)、国際教養大  <b>企業・研究機関</b> (プレゼン指導・FW)	班別FW、  海外修学旅行(シドニー5泊6日)	英語プレゼン発表(10月)  研究論文(2月)
1年	<b>国際探究Ⅰ</b> 全6クラス 240名	2	全員	<b>学年部教員 13名</b> ・各クラス担任 6 ・各クラス副担任 6 ・学年主任 1	<b>大学</b> (講座・講演) 国際教養大、秋田大、秋田県立大  <b>企業・研究機関</b> (講座・講演・プレゼン指導・FW) 秋田経済研究所、JICA、国連WFP	県内FW、  海外FW(タイ5泊6日)	レポート(8月)  プレゼン発表(英語/日本語)、海外FW報告(2月)

※3学年とも、週2コマ(木曜6・7校時)に実施。高3は前期のみ。

# 異学年交流



上級生が下級生へ研究のアドバイス。



上級生や卒業生が各種講座で講師やアシスタントを担当。



中等部生が高校の講座や発表会に参加。



高3のグループが中等部生に対して出前授業を実施（研究成果の発信）

# 本校で行っている国際交流事業



## 海外派遣・留学生受入等

- ・ 海外修学旅行（オーストラリア・シドニー）
- ・ 秋田県高校生国外派遣交流事業（韓国・ソウル高校との相互生徒派遣）
- ・ 海外大学教育実習生受入（オーストラリア・ビクトリア大学）
- ・ 外務省KAKEHASHI Project 2016 派遣/受入プログラム（アメリカ・カリフォルニア州）
- ・ Global Link Singapore 2017（シンガポール）
- ・ アジアユースリーダーズ2018（インドネシア・ジャカルタ）

## 生徒の活動

- ・ AKITA英語コミュニケーション事業（アメリカ・ミネソタ州）
- ・ World Scholar's Cup Global Round（2017ベトナム・ハノイ、2018マレーシア・クアラルンプール）
- ・ トビタテ！留学JAPAN 国際ボランティア（マルタ）
- ・ その他、留学生（短期/長期）派遣・受入多数。

# 教科におけるSGHの成果



## 授業改善の取組

- 秋田大学教職大学院を講師とした教員研修。
- 高大接続改革を見据えた、探究的・協働的な授業の実践。
- ICT活用（単焦点プロジェクター15台、Classi）



## 各教科とSGHとの関わり

- 5能力・3資質を育成する授業の研究と日常的な実践。
- 公開授業研究会の実施（平成28年10月） 今年度も実施します。

## 成果

### ○ 生徒の変容

- ・ 主体性や行動力、表現力、コミュニケーション力の向上。
- ・ S G Hの成果を活かした大学進学が見られた。

### ○ 教員の意識変容と授業改善の推進

- ・ 多くの教員が成果を実感し、取組の全体化が進んでいる。
- ・ 課題研究や探究的学習の指導力が年々向上している。
- ・ S G Hの成果を活かした多様な授業実践が見られる。

### ○ 外部機関との連携

- ・ 年々連携機関が増加し、学校の財産となっている。
- ・ 生徒が社会とのつながりを意識し、外に出て行くように。
- ・ 卒業生による協力体制ができてきた。

## 課題

### △ 課題研究の質的向上

- ・ 表現力に加えて論理性や新規性を高める指導方法の改善。
- ・ 情報検索や情報分析等、探究スキルの指導の充実。

### △ 課題研究カリキュラムの持続可能なモデル化

- ・ 予算措置終了後も継続できる事業の工夫。
- ・ ポートフォリオ評価を含めた評価方法の研究推進。
- ・ 職員の多忙化解消につなげる工夫。

### △ S G Hの一層の全体化

- ・ S G Hの成果を、対象外生徒へさらに浸透させる工夫。
- ・ 探究的学習を取り入れた授業研究のさらなる推進。

## 秋田南 S G H カンファレンス 2018

平成30年10月26日（金）

研究テーマ（仮）

**高大接続を展望した「主体的・対話的で深い学び」の実現**

～確かな知識・技術を土台とした思考力、判断力、表現力を育成するために～

### <午前部> 公開授業研究会

会場：秋田南高校

授業：高校 国語、数学、理科、英語

中等部 社会、J.E. Communication（学校設定教科）

### <午後部> 高2「国際探究Ⅱ」公開成果発表会

会場：秋田総合生活文化会館「アトリオン」

詳細について後ほどご案内させていただきます。ぜひご来場ください。